



2026年度 在職者訓練

能力開発 セミナーガイド

【 技術者向け研修のご案内 】

2026年10月～12月(第3四半期)



———— 技術で未来を創る人材へ ————



スキルを高め、現場力を強化する

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 岡山支部

中国職業能力開発大学校

 能開セミナー案内ページへ!



目 次

■受講申込み手続きについて

1

■研修コースリーフレット

【分野】	（コース名）	【 実施予定日 】	< 頁 >
設機 計械	【5M117】 幾何公差の解釈と活用実習	[10/28～29]	2
加機 械	【5M111】 NC旋盤プログラミング技術 日程・訓練日数(3→2日)変更	[11/9～10]	4
管工 理場	【5M116】 新QC7つ道具活用による製造現場における品質改善・品質保証	[10/13～14]	6
制 御 シ ス テ ム 設 計	【5D124】 PLCプログラミング技術	[10/6～7]	8
	【5D125】 PLCによるFAセンサ活用技術	[10/14～15]	10
	【5D127】 PLCによるインバータ制御技術	[10/22～23]	12
	【5D147】 有接点シーケンス制御の実践技術 追加設定	[11/16～18]	14
	【5D131】 PLC制御の回路技術<シーケンス制御作業>	[11/19～20]	16
	【5D137】 PLC制御システムのマイコン換装技術	[12/5, 12]	18
生 産 設 備 保 全	【5D144】 現場のための電気保全技術 追加設定	[10/28～29]	20
	【5D129】 電気系保全実践技術(有接点編)	[11/8, 15]	22
	【5D134】 電気系保全実践技術(PLC編)	[11/29, 12/6]	24
	【5D128】 半導体デバイス製造プロセス(チップ製造編)	[11/5, 12]	26
	【5D130】 半導体デバイス製造プロセス(チップ組立編)	[11/19, 26]	28
シ ス 回 路 設 計	【5D132】 電子回路の計測技術	[11/18, 25]	30
	【5D138】 デジタル回路設計技術	[12/17～18]	32
組 込 み マ イ コ ン シ ス テ ム 開 発	【5D126】 マイコン制御システム開発技術(PIC編)	[10/24, 31]	34
	【5D133】 AI活用による画像認識システムの開発	[11/19～20]	36
	【5D143】 ものづくり現場におけるAI活用技術 追加設定	[12/7～8]	38
	【5D135】 センサを活用したIoTアプリケーション開発技術	[12/3～4]	40
	【5D136】 エッジコンピュータを用いたAI活用技術	[12/4, 11]	42
	【5D139】 Webを活用した生産支援システム構築技術	[12/24～25]	44

■よくあるご質問

46～47

■受講申込書

裏表紙

受講申込み手続きについて

申込方法 および申込先

裏面の「受講申込書」をコピーして必要事項をご記入のうえ、当施設へFAXまたは郵送にてお申込みください。「受講申込書」は当施設のホームページからもダウンロードすることができます。また、**ホームページより、Webフォームでのお申込みも可能**です。

※申込書の送付先をお間違え無いようご注意ください。

※申込書は、1枚につき1コースの記入をお願いいたします。



[お申込みページへ](#)

受付締め切り

原則として、**開講日の14日前まで**です。申込みの受付は先着順で行い、定員になり次第締め切らせていただきます。定員に達している場合は、申し込み順でのキャンセル待ちとなります。

受講決定 および受講案内

各コース開始日の14日前を目途に、「受講票」、「請求書」等を発送いたします。請求書が届きましたら、**開講日の7日前まで**に受講料をお振込みください。

※受講料に係る振込手数料は、お客様のご負担となります。受講料には、消費税が含まれています。

※7日前までに間に合わない場合は、必ずご連絡をお願いいたします。

受講変更 および取り消し

受講者の変更、受講キャンセル等は、**開講日の14日前までに**「受講者変更・取消書」を当施設のホームページよりダウンロードしていただき、必要事項を記入の上、裏面の「受講申込書」記載のメールアドレスへ送信するか又はFAXしてください。なお、FAX送信後は、お電話により受信確認をお願いいたします。**開講日の14日前までに**届の提出がなされない場合は、受講料をご負担いただきますので、あらかじめご了承ください。

コースの中止

申し込み人数が一定数に満たない場合などは、コースを中止または日程の変更等をさせていただきます場合がございます。別途ご連絡させていただき、受講料の返金や受講コースの変更をいたしますので、あらかじめご了承ください。

研修初日

研修初日は、「受講票」に記載されている会場（教室・実習場）をご確認のうえ、直接会場までお越しください。**受講日には「受講票」を必ずお持ちください。**お車でお越しの際は、本館前駐車場に駐車してください。

お問い合わせ先

中国能開大 援助計画課

TEL (086)526-3102

FAX (086)526-2319

お気軽に、ご相談ください。

能力開発セミナーのご案内

幾何公差を知り、図面での的確な使用法をマスター

コース番号:5M117

幾何公差の解釈と活用実習

期待できる能力UP

グローバルなモノづくりを支えるのは設計図面であり、世界的に幾何公差を使用した図面表記が必須となってきています。しかし、日本の一般的な設計現場において幾何公差自体使われず、使われても適正でない部分がみられるのが実態です。本セミナーでは設計現場で使え、読み手も理解できる幾何公差の習得をねらいとしています。

幾何公差を正しく解釈するうえで大事なことは、記号や数値を個別に覚えることよりも、「設計者がその公差で何を保証したいのか」を読み取る姿勢です。



幾何公差を理解

基準データムの役割と優先順位を機能と結び付けて解釈し、設計意図を捉える



対象者

設計、生産技術、検査等業務に従事する方。または、知識習得したい方。



図面を使った演習

グループ演習では、課題図面に必要な幾何公差を考えてもらいます



日程

R8年10月28日(水)

～ 10月29日(木)

9:30～16:30

定員

15 名

受講料

23,500 円(税込)

会場

中国職業能力開発大学校

〒710-0251 岡山県倉敷市玉島長尾1242-1

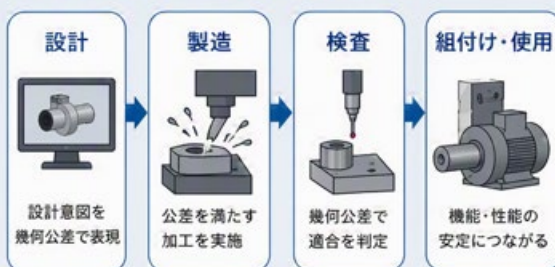
援助計画課

TEL:086-526-3102

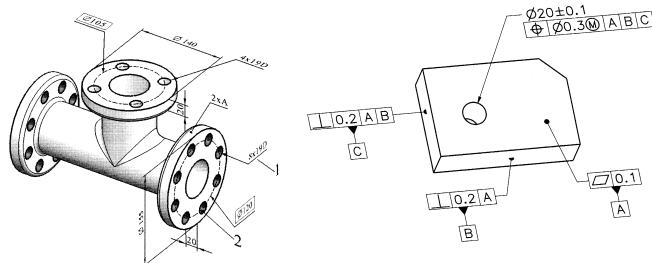
URL:<https://www3.jeed.go.jp/okayama/college>

1. どうして幾何公差が求められるのか
2. 幾何公差の用語
3. データム
4. 幾何公差図示方法の基本
5. 形状公差の公差域とその解釈
6. 姿勢公差の公差域とその解釈
7. 位置公差の公差域とその解釈
8. 振れ公差の公差域とその解釈
9. より実用的な使い方
10. 幾何公差の注意点
11. 最大実体公差方式

幾何公差が活躍するモノづくりの流れ



設計から検査・使用まで、幾何公差が品質と信頼性を支えます。



指導員

株式会社 プラナー

持参物

筆記用具

セミナー利用者の声（令和7年度）

- 図面を作る時や読み取る時に何が重要なのかをしっかりと分かるようになった。
- 今までなんとなく見ていた図面の分かりにくい部分が理解できた。
- 幾何公差の説明に図が用いられて分かりやすかった。

能力開発セミナーのご案内

実習を通して身につけるNC旋盤プログラミングで
生産現場の課題解決へ！

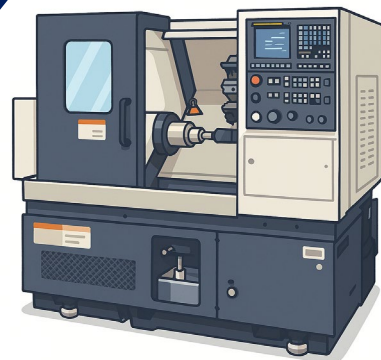
コース番号：5M111

NC旋盤プログラミング技術

期待できる活用事例

- 切削条件やサイクルプログラムを適切に設定できるようになることで、段取り時間、加工時間の短縮につながります。
- ノーズR補正や摩耗補正を理解することで、加工寸法のばらつきを抑え、品質の安定化と不良削減につながります。
- 加工条件やプログラム内容を論理的に説明できるようになり、若手技能者への指導や技能伝承が円滑に進められます。

※ 実機操作および加工は実施しないコースとなっております。



対象者

機械加工作業に従事する
技能・技術者であって、現場
の加工業務や工程改善を
担う方

日程

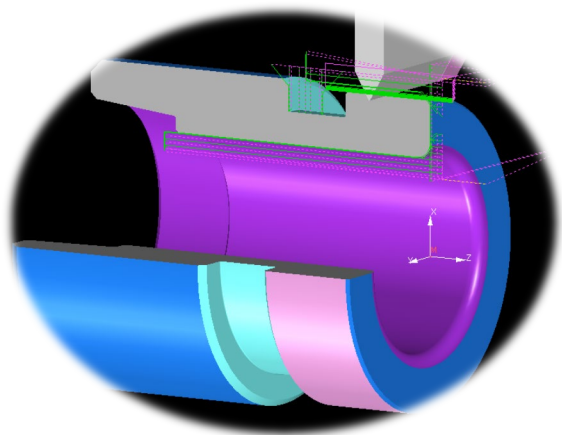
R8年11月9日(月)
～ 11月10日(火)
9:30～16:30

定員

10 名

受講料

11,500 円(税込)



会場

中国職業能力開発大学校

〒710-0251 岡山県倉敷市玉島長尾1242-1

援助計画課

TEL:086-526-3102

URL:<https://www3.jeed.go.jp/okayama/college>

カリキュラム

1. 各種機能とプログラム作成方法
 - (1) 主軸・送り・工具・準備・補助機能
 - (2) 荒加工用プログラム作成方法及び注意点
 - (3) 仕上げ加工用プログラム作成方法及び注意点
 - (4) ノーズR補正
 - (5) 固定サイクル
2. プログラミング課題実習
 - (1) 課題提示および注意点
 - (2) 表面粗さ、加工精度等
 - (3) 加工工程の検討
 - (4) プログラミング
3. プログラミングの検証と評価
 - (1) プログラムの確認と検討
 - (2) 改善策と検証
4. 加工の検証と評価
 - (1) 加工作業の確認と検討
 - イ. プログラムチェック方法の確認と検討
 - ロ. テストカット方法の確認と検討
 - (2) 作業、工程の課題発見
 - (3) 改善策とその検証

担当指導員

中国職業能力開発大学校 機械系 職業能力開発指導員

使用機器

NC旋盤、パソコン式、各種切削工具、各種測定器

セミナー利用者の声（令和7年度）

- ・プログラミングの知識はなんとなく知っていた事が分かりやすく明解になった。
- ・改めて知識を学ぶことができた。また、現場で役立ちそうな事も学べた。

能力開発セミナーのご案内

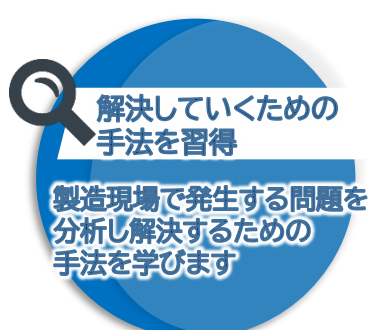
品質管理に係る生産性の向上を目指して！

コース番号:5M116

新QC7つ道具活用による 製造現場における品質改善・品質保証

期待できる能力UP

● 品質管理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)、安全性向上に向けた製造現場で発生する問題について演習を通して、新QC7つ道具を使用して、定性的な問題分析をおこない、解決していくための手法を習得します。



対象者

品質管理の生産性の向上
をめざしておられる方、
又はその候補者



日程

R8年10月13日(火)
～ 10月14日(水)

9:30～16:30

定員

10 名

受講料

13,000 円(税込)

会場

中国職業能力開発大学校

〒710-0251 岡山県倉敷市玉島長尾1242-1

援助計画課

TEL:086-526-3102

URL:<https://www3.jeed.go.jp/okayama/college>

カリキュラム

1. 品質管理とは

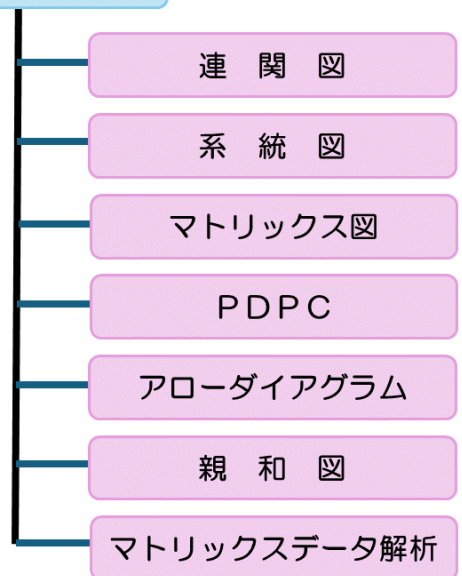
2. 新QC 7つ道具の使い方と留意点

- (1) 新QC 7つ道具の概要
- (2) 新QC 7つ道具の使い方のポイント
- (3) 演習 新QC 7つ道具体験

3. 問題解決演習（新QC 7つ道具活用）

- (1) 親和図法
- (2) 連関図法
- (3) 系統図法
- (4) マトリックス図法
- (5) アロー・ダイアグラム法
- (6) PDPC法
- (7) マトリックス・データ解析法

新QC七つ道具



4. 総合演習

- (1) 製造現場における問題の洗い出し
- (2) 発表・討議

5. まとめ



指 導 員

龍設計コンサルタンツ

元(株)クボタ 生産技術本部 山中 利幸

持 参 物

筆記用具、電卓（四則電卓で構わない）

セミナー利用者の声（令和7年度）

- ・ブレインストーミング法、KJ法など実際に演習を行い、他の会社の方々の意見も聞けて学びになりました。
- ・品質の維持・向上について様々な手法を学ぶことができた。
- ・会社での作業への指導に役に立つと思いました。

能力開発セミナーのご案内

コース番号:5D124

PLCプログラミング技術

工場の自動化で必須となるシーケンス(PLC)制御の導入コースです。プログラミングの基本から自動制御システム制作実習を通して、制御プログラム設計の実務能力を習得します。

期待できる活用事例

- 設備の設計変更が生じたときの迅速な対応
- 外注に頼っていた設備メンテナンスを自社内で実施
- 改善のための設備変更への柔軟な対応

対象者

- ・生産設備の設計に従事する方
- ・生産設備の保守・保全に従事する方

日程

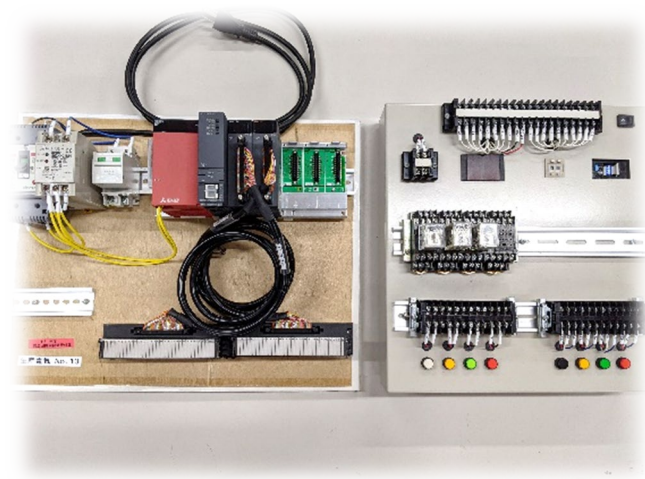
R8年10月6日(火)
～ 10月7日(水)
9:30～16:30

定員

10名

受講料

8,000円(税込)



会場

中国職業能力開発大学校

〒710-0251 岡山県倉敷市玉島長尾1242-1

援助計画課

TEL:086-526-3102

URL:<https://www3.jeed.go.jp/okayama/college>

カリキュラム

1. シーケンス制御に関する知識
2. PLCシステムの理解
 - (1) PLCの構成
 - (2) 入出力インタフェース
3. シーケンスプログラム
 - (1) プログラミングツールの使用法
 - (2) シーケンスプログラムの言語と動作
 - (3) PLCの演算処理方法
 - (4) 各種デバイスについて
 - (5) 基本命令、数値処理
4. 自動制御システム制作実習
 - (1) 実習課題の使用（自動搬送システム）
 - (2) 配線作業、点検作業
 - (3) プログラミング実習
 - (4) ステップラダー
 - (5) 試運転、デバッグ
5. まとめ

担当指導員

中国職業能力開発大学校 電気系 職業訓練指導員

使用機器

PLC（三菱Qシリーズ）、プログラミングツール（GX Works2）、負荷装置

セミナー利用者の声（令和7年度）

- ・パソコンでラダー図を書いてPLCを動かす方法を知ることができた。
- ・接点命令入力方法や積算タイマの実装方法等、新しい知識を得た。

能力開発セミナーのご案内

コース番号:5D125

PLCによるFAセンサ活用技術

シーケンス(PLC)制御設計の現場力強化をめざして、技能高度化、故障対応・予防に向けた自動制御回路製作実習を通じて、FAシステムにおけるセンサの活用技術を実践的に習得する。

期待できる活用事例

- 設備を設計する際にセンサの注意点を理解した設計ができる
- 外注に頼っていた設備メンテナンスを自社内で実施
- 設備変更や電気保全する方への柔軟な対応

対象者

- ・生産設備の設計に従事する方
- ・生産設備の保守・保全に従事する方

日程

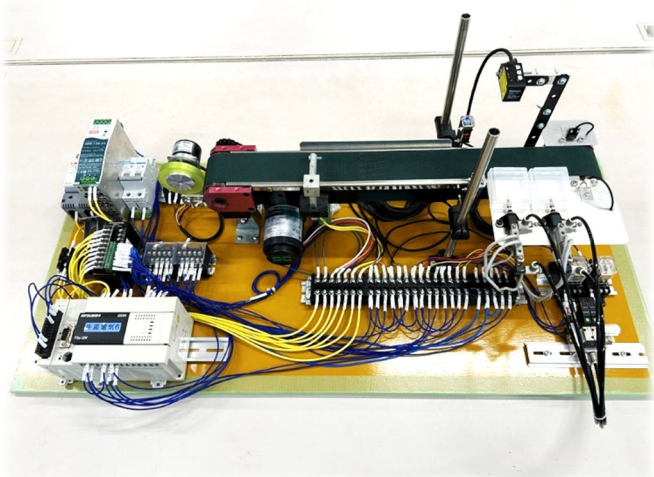
R8年10月14日(水)
～ 10月15日(木)
9:30～16:30

定員

10名

受講料

8,500円(税込)



会場

中国職業能力開発大学校

〒710-0251 岡山県倉敷市玉島長尾1242-1

援助計画課

TEL:086-526-3102

URL:<https://www3.jeed.go.jp/okayama/college>

カリキュラム

1. コース概要および留意事項
 - (1) コースの目的
 - (2) 安全上の留意事項
2. PLCの概要
 - (1) 入出力回路
3. センサの概要
 - (1) センサの種類、用途
 - (2) センサの出力形式
4. 各種センサ
 - (1) 各種センサの種類、特性、使用目的、選定方法
 - (2) PLCへの信号取り込み
(セミナーで使用する光電センサ、近接センサほか)
5. 安全対策
 - (1) 安全のためのソフトウェア対策
 - (2) 安全のためのハードウェア対策
6. FAセンサを用いた自動制御回路製作実習
 - (1) 現場に即した実習課題
7. まとめ

担当指導員

中国職業能力開発大学校 電気系 職業訓練指導員

使用機器

PLC（三菱Qシリーズ）、プログラミングツール（GX Works2）
各種センサ、負荷装置

セミナー利用者の声（令和7年度）

- ・工場内で使われている各センサについて原理などを詳しく知れた。
- ・センサーを使用している機械が多いので調整する時の知識が身に付いた。

能力開発セミナーのご案内

コース番号:5D127

PLCによるインバータ制御技術

シーケンス(PLC)制御設計の生産性の向上をめざして、効率化、最適化(改善)、安全性向上に向けた各種設定や配線実習およびインバータ制御実習を通して、PLCを用いたインバータ制御の実務を習得する。

期待できる活用事例

- 設備の設計する際のセンサの注意点を理解した設計ができる
- 外注に頼っていた設備メンテナンスを自社内で実施
- 設備変更や電気保全するへの柔軟な対応

対象者

- ・生産設備の設計に従事する方
- ・生産設備の保守・保全に従事する方

日程

R8年10月22日(木)
～ 10月23日(金)

9:30～16:30

定員

10 名

受講料

8,500 円(税込)

会場

中国職業能力開発大学校

〒710-0251 岡山県倉敷市玉島長尾1242-1

援助計画課

TEL:086-526-3102

URL:<https://www3.jeed.go.jp/okayama/college>

カリキュラム

1. コース概要および留意事項
 - (1) コースの目的
 - (2) 安全上の留意事項
2. インバータ概要
 - (1) 三相誘導モータの原理
 - (2) インバータの原理と利用方法
 - (3) 各種パラメータについて
 - (2) インバータの運転方法
3. PLCプログラミング
 - (1) PLCとの接続
 - (2) プログラミング
4. インバータ制御実習
 - (1) 配線作業
 - (2) 多段速運転
 - (3) DA変換による可変速運転
 - (4) ベルトコンベア制御
5. まとめ

担当指導員

中国職業能力開発大学校 電気系 職業訓練指導員

使用機器

PLC（三菱Qシリーズ）、プログラミングツール（GX Works2）
各種センサ、負荷装置

セミナー利用者の声（令和7年度）

- ・インバータを使う機会が多く、PLCと組み合わせた制御を理解できた。
- ・ベルトコンベアを用いた実習がわかりやすくて良かった。

コース番号:5D147

有接点シーケンス制御の実践技術

有接点シーケンス制御における各種制御機器の種類、各種シーケンス制御回路を理解し、総合実習を通して制御回路の設計・配線技術を習得します。

期待できる活用事例

- フル稼働している機械に電氣的なトラブルが生じたときの迅速な対応
- 外注に頼っていた設備メンテナンスを自社内で実施
- 改善のための設備変更への柔軟な対応

対象者

- ・電気機器設備工事に従事する方
- ・機械の制御盤の保守点検に従事する方

日程

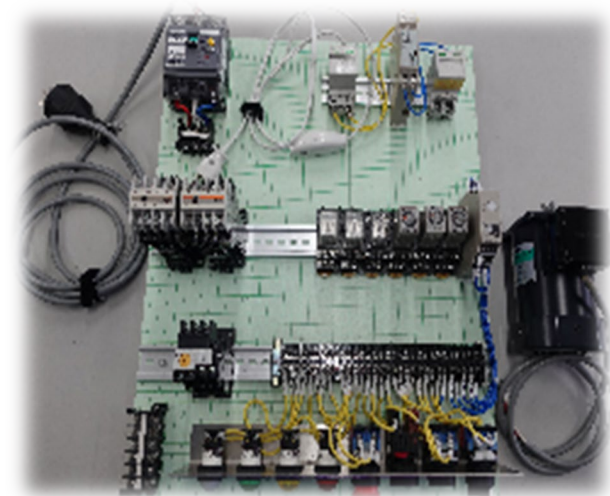
R8年11月16日(月)
～ 11月18日(水)
9:30～16:30

定員

10名

受講料

11,500円(税込)



会場

中国職業能力開発大学校

〒710-0251 岡山県倉敷市玉島長尾1242-1

援助計画課

TEL:086-526-3102

URL:<https://www3.jeed.go.jp/okayama/college>

カリキュラム

1. シーケンス制御の概要
 - (1) コースの目的
 - (2) 安全上の留意事項
2. 各種制御機器の種類と選定方法
 - (1) スイッチ、ランプ
 - (2) リレー、タイムラグリレー
 - (3) ブレーカ、ヒューズ
 - (4) 制御線、動力線
3. 主回路と制御回路
 - (1) 各種シーケンス制御回路の概要
4. 総合実習
 - (1) シーケンス制御回路の設計・配線
 - (2) 動作確認・検証
5. まとめ

担当指導員

中国職業能力開発大学校 電気系 職業訓練指導員

使用機器

電磁継電器、電磁接触器、熱動継電器、サーキットプロテクタ、漏電遮断器、三相誘導電動機、検電器、クランプメータ、回路計、工具

セミナー利用者の声（令和7年度）

- ・回路図を考えて配線することが身についた。
- ・上司に聞かずに自分一人で作業でき、効率があがる。
- ・理解が浅いまま仕事で作業を行っていたが、なぜそうなるのかわからないことが多く、身に付くまでに時間がかかっていたが、今回知ることができた。

能力開発セミナーのご案内

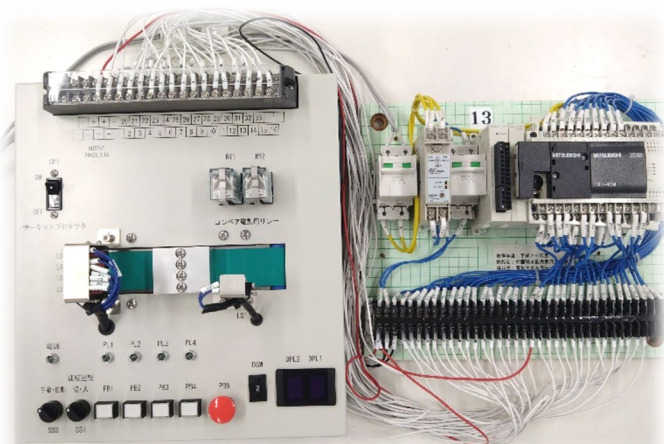
コース番号:5D131

PLC制御の回路技術 ＜シーケンス制御作業＞

シーケンス制御作業に必要な知識及び技能を技能検定(シーケンス制御作業2級)の課題を通して習得します。
※技能検定(シーケンス制御作業2級)を受検される方にお勧めです。

PLC制御の回路技術からステップアップ

- 知っておきたい命令を技能検定のシーケンス制御作業に必要となる命令を中心に習得します。
- 効率的なプログラムの方法やデバック方法などを学びます。



対象者

- ・生産設備の設計に従事する方
- ・生産設備の保守・保全に従事する方

日程

R8年11月19日(木)
～ 11月20日(金)
9:30～16:30

定員

10名

受講料

8,500円(税込)

会場

中国職業能力開発大学校

〒710-0251 岡山県倉敷市玉島長尾1242-1

援助計画課

TEL:086-526-3102

URL:<https://www3.jeed.go.jp/okayama/college>

カリキュラム

1. コース概要

(1) コースの目的

2. PLCの運用

(1) PLCのハードウェア

(2) ユニットの選定

(3) 外部配線の設計

(4) 回路設計ツールの機能

(5) ラダー図及びシーモニックによる回路作成

(6) データメモリの編集

(7) モニタリング、タイムチャートモニタ

(8) デバック運転

3. PLCの回路の設計

(1) 標準化回路の設計

4. PLCの設計

(1) 実習課題の仕様について（搬送システム等の自動制御について）

（技能検定（シーケンス制御作業2級）課題による実習）

(2) 回路（プログラム）の標準化、運用管理及び自動運転制御について

(3) 入出力機器選定及び電源・入出力配線

(4) FAモデルの制御回路設計実習

5. まとめ

担当指導員

中国職業能力開発大学校 電気系 職業訓練指導員

使用機器

PLC（三菱Qシリーズ）、プログラミングツール（GX Works2）、負荷装置

セミナー利用者の声（令和7年度）

- ・プログラムの作り方を細かく教えてもらい、身に付いた。
- ・PLCプログラミング作成について、最初の考え方から、細かい書き方まで色々大変勉強になりました。試験対応における話もあったが、その考え方は実際の業務でも利用できると感じました。

能力開発セミナーのご案内

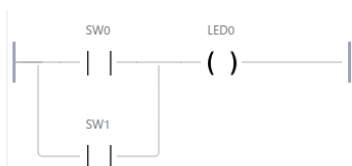
コース番号:5D137

PLC制御システムの マイコン換装技術

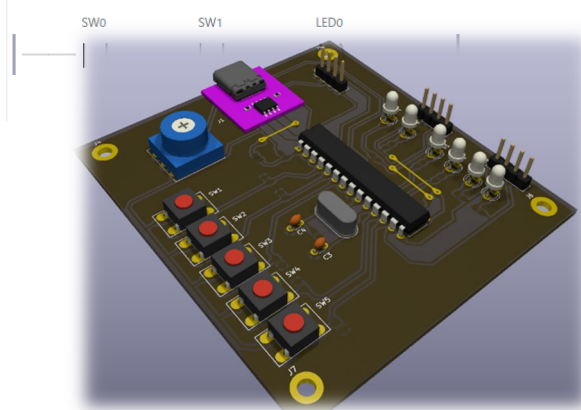
制御システム設計業務の生産性向上をめざして、効率化、適正化に向けたPLCとマイコンの比較をしながら、ラダー図でのプログラム作成実習を通して、PLCをマイコンに置き換えることを想定した安価なPLC実習環境を利用した制御システムの構築技術を習得する。

期待できる活用事例

- 既存のPLCをマイコンに置き換えるためのシステムを構築できる。
- パソコンを利用したラダープログラムの記述ができる。
- PLC互換のインタフェースの構築ができる。



Start typing to add a comment to this rung



対象者

- ・生産設備の保守・保全に従事する方
- ・安価なPLC実習環境を必要とする方

日程

R8年12月5日(土)
12月12日(土)
9:30~16:30

定員

10名

受講料

10,500円(税込)

会場

中国職業能力開発大学校

〒710-0251 岡山県倉敷市玉島長尾1242-1

援助計画課

TEL:086-526-3102

URL:<https://www3.jeed.go.jp/okayama/college>

カリキュラム

1.
 - (1) マイコンの概要とP L Cとの違い
 - (2) マイコンの開発環境構築（OpenPLCの利用）
 - (3) P Cの開発環境構築
2.
 - (1) インタフェースボードの概要
 - (2) インタフェースボードの実装
3.
 - (1) 開発ツールの取り扱い
 - (2) ラダー図の作成法
 - (3) タイマ回路
 - (4) カウンタ回路
 - (5) システム設計
 - (6) 各種ファンクションブロックの設計
 - (7) 動作テスト
4. まとめ

担当指導員

中国職業能力開発大学校 電気系 職業訓練指導員

使用機器

オリジナルマイコンシステム（利用後はお持ち帰りいただけます。）、OpenPLC開発環境、負荷装置

ここがポイント

- ・パソコンでラダーで記述したプログラムがマイコン上で動作する。
- ・ラダー図とC言語を組み合わせたシステム開発ができる。

能力開発セミナーのご案内

コース番号:5D144

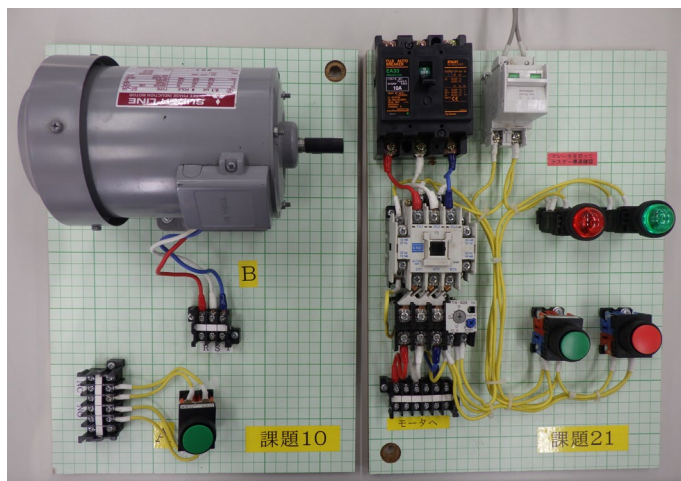
追加

現場のための電気保全技術

電気設備の現場作業の安全対策をはじめ、機器の故障や劣化防止、測定試験、電気保全に関する技術を、事例実習を通して習得します。
(電気保全、機器配線のトラブル対策、シーケンス回路、制御盤不良個所の検出、絶縁抵抗測定、電気保全、接地)

期待できる活用事例

- フル稼働している機械に電氣的なトラブルが生じたときの迅速な対応
- 外注に頼っていた設備メンテナンスを自社内で実施
- 改善のための設備変更への柔軟な対応



対象者

- ・電気機器設備工事に従事する方
- ・機械の制御盤の保守点検に従事する方

日程

R8年10月28日(水)
～ 10月29日(木)
9:30～16:30

定員

10名

受講料

8,000円(税込)

会場

中国職業能力開発大学校

〒710-0251 岡山県倉敷市玉島長尾1242-1

援助計画課

TEL:086-526-3102

URL:<https://www3.jeed.go.jp/okayama/college>

カリキュラム

1. コース概要と留意事項

- (1) 訓練の目的及び専門的能力の現状確認
- (2) 問題点の整理及び安全上の留意事項

2. 電気災害概要と対応策

- (1) 感電の人体反応と対応策 (2) 短絡の対応策
- (3) 漏電の対応策 (4) 接地の必要性和起因するトラブル
- (5) 現場作業中の災害事例 (6) 安全対策

3. 欠陥の種類

- (1) 混食、過熱、電圧降下 (2) 絶縁劣化、誘導現象、その他

4. 生産設備のトラブルとその対策

- (1) リレーや回路の故障原因と対策
- (2) 回路を構成する機器の故障発見技術
- (3) 測定器を使用した回路確認 (4) 電動機の構造・特性と保護

5. 電気保全実習

- (1) 機器選定実習 (2) 現場における測定検査実習
- (3) 屋内配線、制御盤、電気機器の不良箇所の発見実習と対応策検討

7. まとめ

担当指導員

中国職業能力開発大学校 電気系 職業能力開発指導員

使用機器

配線用遮断器、漏電遮断器、変流器、電磁接触器、電磁リレー、サーマルリレー、スイッチ、表示灯、ヒューズ、電動機、力率改善コンデンサ、回路計、絶縁抵抗計、クランプ式電流計、回転計、工具

セミナー利用者の声（令和7年度）

- ・私は製造部門から保全部門に転属したため電気の知識がなかったが、今回の講習で電気の知識を得ることができた。
- ・電気システムのトラブルや原因を理解することができ、設備異常への早期発見、対応力強化ができた。

能力開発セミナーのご案内

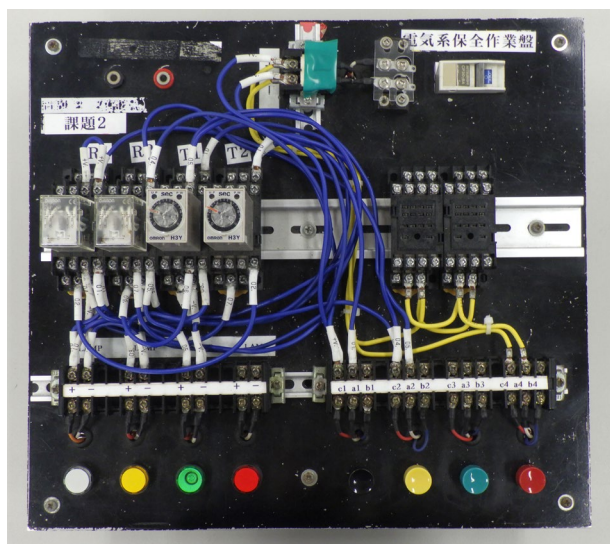
コース番号:5D129

電気系保全実践技術(有接点編)

電気系保全作業に必要な知識及び技能を技能検定(電気系保全作業2級)の課題を通して習得します。(リレーの故障診断、有接点シーケンス回路のトラブル発見技法)※技能検定(電気系保全作業2級)を受検される方にお勧めです。

期待できる活用事例

- 設備の設計変更が生じたときの迅速な対応
- 外注に頼っていた設備メンテナンスを自社内で実施
- 改善のための設備変更への柔軟な対応



対象者

- ・生産設備の保守・保全に従事する方
- ・リレーシーケンス制御の知識をお持ちの方

日程

R8年11月8日(日)
～ 11月15日(日)
9:30～16:30

定員

10名

受講料

8,500円(税込)

会場

中国職業能力開発大学校

〒710-0251 岡山県倉敷市玉島長尾1242-1

援助計画課

TEL:086-526-3102

URL:<https://www3.jeed.go.jp/okayama/college>

カリキュラム

1. 電気系保全の概要

- (1) 有接点シーケンス制御の概要
- (2) 電気系故障の分類

2. 制御機器に生じる不良の原因と対策

3. トラブルとその対応

- (1) 制御機器（リレー等）やシーケンス回路の故障原因と対策
- (2) 制御装置の回路の修復と追加

4. 総合実習

- (技能検定（電気系保全作業2級）課題による実習)

担当指導員

中国職業能力開発大学校 電気系 職業訓練指導員

使用機器

制御対象装置、スイッチ、表示灯、リレー、タイマ、工具

セミナー利用者の声（令和7年度）

- ・故障を判断する着眼点、配線確認のコツを学ぶことができた。
- ・保全のやり方がよく分かった。
- ・リレー、タイマーの点検方法が身についた。
- ・回路図の見方がわかるようになった

能力開発セミナーのご案内

コース番号:5D134

電気系保全実践技術(PLC編)

電気系保全作業に必要な知識及び技能を技能検定(電気系保全作業2級)の課題を通して習得します。
※技能検定(電気系保全作業2級)を受検される方にお勧めです。

期待できる活用事例

- 設備の設計変更が生じたときの迅速な対応
- 外注に頼っていた設備メンテナンスを自社内で実施
- 改善のための設備変更への柔軟な対応



対象者

- ・生産設備の保守・保全に従事する方
- ・PLC制御の知識をお持ちの方

日程

R8年11月29日(日)
～ 12月6日(日)
9:30～16:30

定員

10名

受講料

8,000円(税込)

会場

中国職業能力開発大学校

〒710-0251 岡山県倉敷市玉島長尾1242-1
援助計画課

TEL:086-526-3102

URL:<https://www3.jeed.go.jp/okayama/college>

カリキュラム

1. 電気系保全の概要

- (1) PLC制御の概要
- (2) 電気系故障の分類

2. PLCと制御機器の配線

3. PLCの回路設計

4. 総合実習

(技能検定（電気系保全作業2級）課題による実習)

担当指導員

中国職業能力開発大学校 電気系 職業訓練指導員

使用機器

PLC（三菱FX）、プログラミングツール（GX Works2）、負荷装置

セミナー利用者の声（令和6・7年度）

- ・電気保全の試験内容を理解することができた。
- ・自分で理解できない回路の動き方などを詳しく教えてもらった。
- ・今まではなんとなくで行っていた作業がどうしてそうなるのかが理解できたため。

能力開発セミナーのご案内

半導体前工程に携わるエンジニアのスキルを
カタチにしてみませんか

コース番号：5D128

半導体デバイス製造プロセス<チップ製造編>

期待できる活用事例

- レガシー半導体の物性に関する知識の習得
- 半導体前工程に使われる製造装置(露光装置、エッチング装置、PVD、CVD、洗浄装置)に関する動作原理と不具合解析
- 国家技能検定「集積回路チップ製造作業」1・2級に準拠。



※「国家技能検定制度」とは、

国家技能検定制度とは働くうえで必要とされる技能の習得レベルを評価する国家検定制度で機械加工、フィナンシャルプランニングなど130職種の検定があります。半導体製造に関しては「集積回路チップ製造作業」と「集積回路チップ組立て作業」の2つがあります。



社内人材育成に

前工程全体を知ること
で異常予測が現場での
改善が期待されます



技能検定制度の 活用に

スキルをカタチにする
ことでモチベーションの
向上が期待されます。

対象者

・半導体前工程の製造業で
ものづくり現場の生産・
改善業務に従事している方

日程

R8年11月5日(木)

11月12日(木)

9:30~16:30

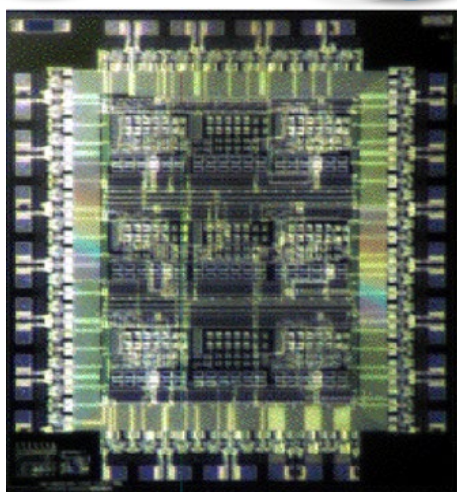
定員

10名

受講料

13,500円(税込)

※中央職業能力開発協会監修「1・2級技能検定
試験問題集」及びオリジナルテキスト含みます



会場

中国職業能力開発大学校

〒710-0251 岡山県倉敷市玉島長尾1242-1
援助計画課

TEL:086-526-3102

URL:<https://www3.jeed.go.jp/okayama/college>

1. 半導体の概要

- ・周期表と電子軌道、結晶構造
- ・単結晶、多結晶、真性半導体、不純物半導体
- ・PN接合とダイオード、バイポーラトランジスタ、MOS構造

2. 前工程半導体製造プロセス

- ・露光装置（波長、光源、レジスト）、レジスト塗布装置
- ・エッチング装置
 - ・ウェットエッチングとドライエッチング
 - ・絶縁膜の種類と使用ガス
 - ・リアクティブエッチング装置
- ・成膜装置
 - ・成膜の材料（導体、半導体、絶縁材）
 - ・PVDとCVD、イオンプレーディング、ALD
- ・CMP
 - ・スラリーと平坦化
- ・洗浄装置
 - ・薬液の種類と用途
 - ・洗浄シーケンスと各種乾燥法

3. クリーン化技術

4. 各半導体製造装置の保全

5. 総合課題実習

6. まとめ

担当指導員

中国職業能力開発大学校 電子情報系 職業訓練指導員

持参物

筆記用具。（事前に中央職業能力開発協会のHPで過去の出題サンプルを一読することをお勧めします）

セミナー利用者の声（令和7年度）

- ・会社で対応している以外の内容を知り、知っている事も再度学べた
- ・仕事だけでは得られない知識を身に付けることが出来ました。

能力開発セミナーのご案内

半導体後工程に携わるエンジニアのスキルを
カタチにしてみませんか

コース番号：5D130

半導体デバイス製造プロセス<チップ組立編>

期待できる活用事例

- レガシー半導体のパッケージに関する知識の習得
- 半導体後工程に使われる製造装置(裏面研磨装置、ダイシング装置、ダイボンディング装置、ワイヤーボンディング装置、モールド装置、めっき・切断)に関する動作原理と不具合解析



※「国家技能検定制度」とは、

国家技能検定制度とは働くうえで必要とされる技能の習得レベルを評価する国家検定制度で機械加工、フィナンシャルプランニングなど130職種の検定があります。半導体製造に関しては「集積回路チップ製造作業」と「集積回路チップ組立て作業」の2つがあります。

社内人材育成に

前工程全体を知ること
異常予測が現場での
改善が期待されます

**技能検定制度の
活用に**

スキルをカタチにする
ことでモチベーションの
向上が期待されます。

対象者

・半導体後工程の製造で
ものづくり現場の生産、
改善業務に従事している方

日程

R8年11月19日(木)
、11月26日(木)

9:30~16:30

定員

10名

受講料

13,500円(税込)

※中央職業能力開発協会監修「1・2級試験問題集」とオリジナルテキストを含みます

会場

中国職業能力開発大学校

〒710-0251 岡山県倉敷市玉島長尾1242-1
援助計画課

TEL:086-526-3102

URL:<https://www3.jeed.go.jp/okayama/college>

カリキュラム

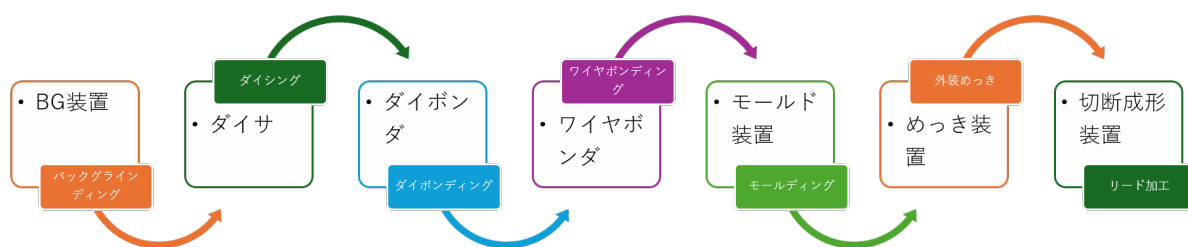
1. 半導体の概要

- ・周期表と電子軌道、結晶構造
- ・単結晶、多結晶、真性半導体、不純物半導体
- ・PN接合とダイオード、バイポーラトランジスタ、MOS構造
- ・各種半導体パッケージ

2. 後工程半導体製造プロセス

- ・裏面研磨（バックグラインディング）装置
 - ・BGテープ貼り付け、剥離
- ・ダイシング装置
 - ・ダイシングフィルム貼り付け
- ・ダイボンディング装置
 - ・コレット、ペースト剤
- ・ワイヤーボンディング装置
 - ・熱圧着、超音波圧着、熱超音波圧着と配線材
- ・封止装置（モールド）
 - ・封止材
- ・切断装置

4. まとめ、総合課題、演習



担当指導員

中国職業能力開発大学校 電子情報系 職業訓練指導員

持参物

筆記用具。(事前に中央職業能力開発協会のHPで過去の出題サンプルを一読することをお勧めします)

能力開発セミナーのご案内

コース番号:5D132

電子回路の計測技術

NEW

電子機器、特に電子回路の現場力の強化及び技能の継承ができる能力をめざして、技能の高度化及び故障対応・予防に向けた電子回路の計測技術の実務能力を習得します。

期待できる活用事例

- 稼働している電子機器に電氣的なトラブルが生じたときの迅速な対応
- 外注に頼っていた電子回路関連の業務を自社内で実施
- 改善のための仕様・機能変更への柔軟な対応

対象者

- ・電子機器の設計、評価に従事する方
- ・電子機器の保守、品質管理に従事する方

日程

R8年11月18日(木)
, 11月25日(金)

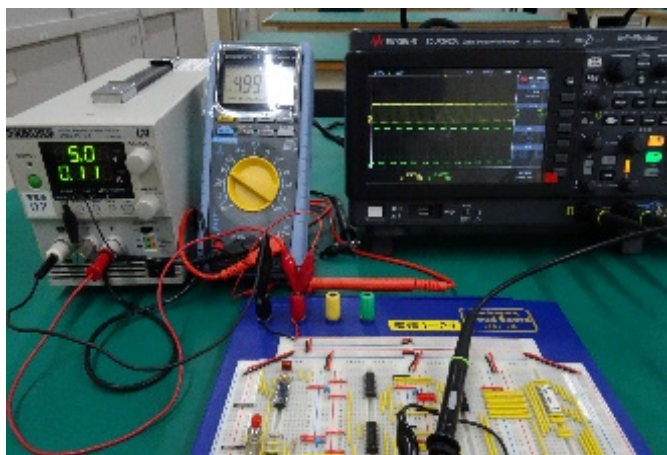
9:30~16:30

定員

10名

受講料

9,000円(税込)



会場

中国職業能力開発大学校

〒710-0251 岡山県倉敷市玉島長尾1242-1

援助計画課

TEL:086-526-3102

URL:<https://www3.jeed.go.jp/okayama/college>

カリキュラム

1. コース概要および留意事項
 - (1) コースの目的
 - (2) 専門的能力の現状確認
 - (3) 安全上の留意事項
2. 回路と計測の概要
 - (1) 電気・電子回路の概要
 - (2) 計測の概要
3. 計器の校正
 - (1) テスタの原理
 - (2) テスタのゼロオーム等調節
 - (3) プローブの校正
 - (4) オシロスコープの測定技法
4. 電気回路と電子回路の検証と計測
 - (1) 断線、短絡等の故障診断について
 - (2) 各電気・電子回路の検証および効果的な計測技法
5. 電気回路と電子回路の検証と計測
 - (1) アナログ波形の測定技法
 - (2) デジタル波形の測定技法
5. まとめ

担当指導員

中国職業能力開発大学校 電子情報系 職業訓練指導員

使用機器

直流電源、電圧計、電流計、オシロスコープ、ファンクションジェネレータ、実習用基板、テスタ

能力開発セミナーのご案内

デジタル回路の最初の一步！
基本論理ゲートとフリップフロップを学ぼう

コース番号:5D138

デジタル回路設計技術

こんなことが出来るようになる！

- ブレッドボードの取り扱いがわかる。
- 10進デコーダの取扱いがわかる。
- 論理ゲートの基本を理解できる。
- 電子回路の基本を理解できる。
- カルノー図から7セグメントLEDを自由に制御できるようになる。
- カウンタ回路を理解・作製できる。

論理ゲートは、デジタル技術すべての基礎です。ANDやOR、フリップフロップといった基本素子を理解すれば、複雑な回路もゆくゆくは読み解けるようになります。
ブレッドボードで実際に回路を組むことで、理論と実践を結びつけましょう！



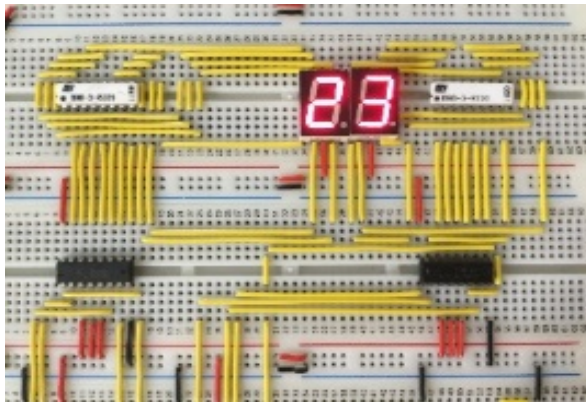
論理回路は出発点

論理ゲートから学ぶことで、すべてのデジタル機器の動作原理が見えてきます。



実践で身につく

ブレッドボードを用いて手を動かすことで、理解が深まります。



対象者

・電子回路関係に従事する初学者の方

日程

R9年12月17日(水)

12月18日(木)

9:30~16:30

定員

10名

受講料

12,500

円(税込)

会場

中国職業能力開発大学校

〒710-0251 岡山県倉敷市玉島長尾1242-1

援助計画課

TEL:086-526-3102

URL:<https://www3.jeed.go.jp/okayama/college>



[コースページへ](#)

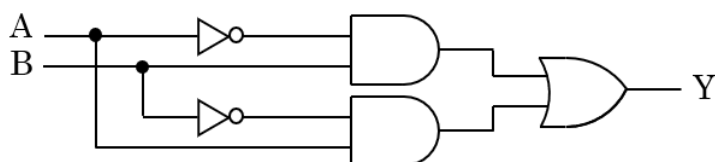
1. コース概要及び機器の留意事項

- (1) デジタルとは
- (2) ブレッドボードについて
- (3) テスタの使い方について



2. 論理代数とカルノー図

- (1) 基本の論理ゲートについて
- (2) 真理値表の作成



C \ AB	00	01	11	10
0				
1		1	1	1

$B \cdot C$ (points to 01, 11)
 $A \cdot B$ (points to 11, 10)
 $C \cdot A$ (points to 11, 10)

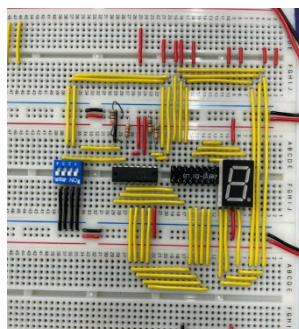
3. 組み合わせ回路

- (1) 7セグメントLEDのデコーダ回路
- (2) DIPスイッチからHELPを表現する回路

4. 順序回路（JK、T、Dフリップフロップの動作確認）

5. カウンタ回路

6. まとめ



担当指導員

中国職業能力開発大学校 電子情報系 職業訓練指導員

持参物

筆記用具

使用機器

ブレッドボード、直流電源、マルチメータ、
工具一式、IC及び電子部品一式

能力開発セミナーのご案内

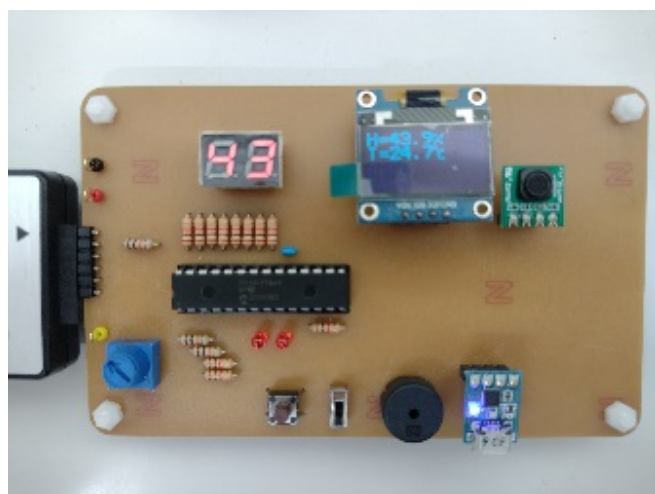
コース番号:5D126

マイコン制御システム開発技術 (PIC編)

PICマイコンボードを用いて、マイコン制御に必要な要素、設計製作手法、プログラム開発技術を習得します。

期待できる能力UP

- マイコンの周辺回路がわかるようになる
- PICマイコンでのプログラミング手法を習得できる



マイコンは
PIC18F27Q43
を使用します。

対象者

これから
PICマイコンを
学んでいきたい方

日程

R8年10月24日(木)
、10月31日(金)

9:30~16:30

定員

10 名

受講料

7,500 円(税込)

会場

中国職業能力開発大学校

〒710-0251 岡山県倉敷市玉島長尾1242-1

援助計画課

TEL:086-526-3102

URL:<https://www3.jeed.go.jp/okayama/college>

カリキュラム

1. マイコン概要

- (1) PICの概要、ファミリ、構成
- (2) マイコンボード

2. 開発環境

- (1) MPLAB X IDE、XC8、MCC
- (2) マイコンのプログラム

3. マイコン周辺回路

- (1) LED、SW（スイッチ）回路
- (2) タイマ
- (3) 割り込み
- (4) A/D変換他

4. 制御プログラム

- (1) LED制御（2桁7segmentLED）
- (2) センサ計測他

5. まとめ

担当指導員

中国職業能力開発大学校 電子情報系 職業訓練指導員

使用機器

PICマイコンボード、開発ツール、LED、スイッチ、センサ他

能力開発セミナーのご案内

つくりながら学ぶ

コース番号:5D133

AI活用による画像処理システムの開発

画像認識を題材に「AIの使い方」ではなく、「AIの作り方」からAIの仕組みや評価方法などを学びます。

Python言語でプログラミングを行います。プログラムはシンプルなので、他のプログラミング言語の経験がある方であれば受講可能です。

このような方におすすめです

AIの仕組みが
知りたい

オリジナルの
AIを作って
みたい

AIの評価方法が
わからない

画像で仕分け
ができるAIが
欲しい

etc.

日程

R8年11月19日(木) ~ 11月20日(金)
9:30~16:30

定員

10 名

受講料

9,000 円(税込)

会場

中国職業能力開発大学校

〒710-0251 岡山県倉敷市玉島長尾1242-1
援助計画課

TEL:086-526-3102

URL:<https://www3.jeed.go.jp/okayama/college>

Python
TensorFlow
Keras



1. 開発環境について

2. ニューラルネットワークを構築する

- (1) AIの入力と出力
- (2) ニューラルネットワークの仕組み
- (3) AIモデルの記述
- (4) 学習の実装
- (5) 推論（画像認識）の実装

3. 畳み込みニューラルネットワークの構築

- (1) 畳み込み層の仕組みと実装
- (2) 過学習とその対策
- (3) 画像認識AIの基本構成
- (4) 評価指標

4. AIの精度を評価する

- (1) 評価における注意点
- (2) 混同行列
- (3) 評価指標

5. 転移学習

- (1) 既存AIをカスタマイズする転移学習
- (2) 転移学習の実装

6. AIの本質について

- (1) AIが行っていること
- (2) 誤認識が発生するメカニズム
- (3) 特徴量空間の可視化
- (4) AIの判断根拠の可視化

担当指導員

中国職業能力開発大学校 電子情報系 職業訓練指導員

使用機器

- パソコン
 - OS : Linux (Ubuntu)
 - パッケージ管理 : Anaconda
 - フレームワーク : Tensorflow、Keras
- USBカメラほか

セミナー利用者の声（令和7年度）

- ・ AIに関する知識を実践的に知ることが出来た。
- ・ 今まで何となくAIを利用していたが、内部がどうなっているかなど初めて知ることが多く、興味深かった。

ノーコードで始める
ものづくり現場のAI革新

追加

能力開発セミナー

コース番号 **5D143** 「ものづくり現場におけるAI活用技術」

日程 2026.12.7 (月) ~ 12.8 (火) 9:30 ~ 16:30

定員 10 名

受講料 13,500 円(税込) ※SSDフラッシュメモリ(AIモデル構築済み)のお持ち帰りができます

会場

中国職業能力開発大学校 1号棟4階1401室
〒710-0251

岡山県倉敷市玉島長尾1242-1
援助計画課

TEL 086-526-3102

FAX 086-526-2319

対象者

- 製造現場での工程改善や品質向上に取り組む方でAI技術の導入に関心がある方
- 制御系の設計・開発に従事しており、AIを活用したシステム最適化を目指す方
- 現場のリーダーや技術指導者として、AI活用を推進する立場にある方
- 業務のデジタル化や自動化を進める中で、AIの活用を検討している方

コース内容

生産現場の課題解決のために、ノーコード(プログラミングを一切行わず、AIとの会話のみ)によるシステム開発の実習を通して、「異常検知」「画像分類」「需要予測」などのAIタスクに対応できる技術を取得します。



- ✓ ものづくり現場におけるAI活用の現状と展望
- ✓ AIの基礎知識
- ✓ ノーコードによるシステム開発
- ✓ AI活用実習

🔍 本セミナーを受講することにより…

プログラミングが不要なので、現場の作業者でもAIを活用することが可能となります。
異常検知や需要予測など、現場主導の改善が可能となります。



YouTube配信中!!!

／らしく、はたらく、ともに／



中国職業能力開発大学校

URL: <https://www3.jeed.go.jp/okayama/college/>

カリキュラム

1. ものづくり現場におけるAI活用の現状と展望
 - (1) AI活用による品質向上
 - (2) AI活用による新たな価値創造
2. AIの基礎知識
 - (1) AIとは何か？
 - (2) 機械学習とディープラーニングの概要
 - (3) データの重要性と前処理の基礎
 - (4) AIタスクの概要
3. ノーコードツールの紹介とセットアップ
 - (1) ノーコードツールの基本機能紹介
 - (2) アカウント作成とツールのセットアップ
 - (3) ツールのデモ
4. AIの活用実習
 - (1) サンプルデータを用いたデータセット
 - (2) AIに必要なデータの収集
 - (3) 収集したデータによるタスクの評価方法
 - (4) 精度評価と改善
 - (5) カスタムモデルの作成
5. まとめ

担当指導員

中国職業能力開発大学校 電子情報系 職業訓練指導員

使用機器

パソコン一式、AI開発環境、画像取り込み用カメラ、その他（認識対象物等）

セミナー利用者の声（令和7年度）

- ・AIでできることが分かった。プログラムなどAIシステムも作れることが分かった。
- ・AI技術に関する知識は自習の範疇での断片的なものであったが、体系的に学びなおすことができました。
- ・AIを使ったプログラミングで業務改善が出来そう。

能力開発セミナーのご案内

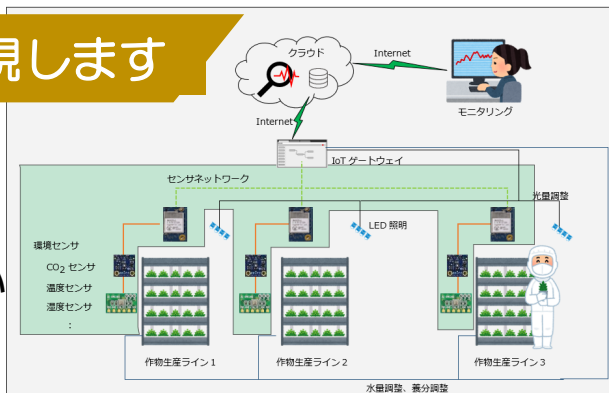
無線を利用したセンサネットワークを簡単に構築！
IoTに必要な技術をまるっと体験してみませんか？

コース番号:5D135

センサを活用したIoTアプリケーション開発技術 ＜無線ネットワーク構築から見える化まで＞

「こんなことがやりたい」を実現します

- 農場や工場などの環境データ(温度、湿度など)を集めてデータを可視化したい
- ソフトウェア開発は、そこそこできるようになったので、ハードウェア側の技術も身に着けたい
- 新しいアイデアを探しているが何から始めたら良いかわからない → まずは体験できます



「無線ネットワーク」では、長距離通信・マルチホップで定評のあるインタープラン社製の IM920sL を使用。規模に関係なくIoTの本質である無線通信、センサのあれこれを学べます！

Pythonも学べる

AIで人気のPython
言語。IoTでも大活躍

疑問をぶつけられる

分からないことを
そのままにしない。
全力で答えます！

対象者

- ・製造業、建設業など、ものづくり現場の生産管理、改善業務に従事している方
- ・IoT活用に関心のある事業主

日程

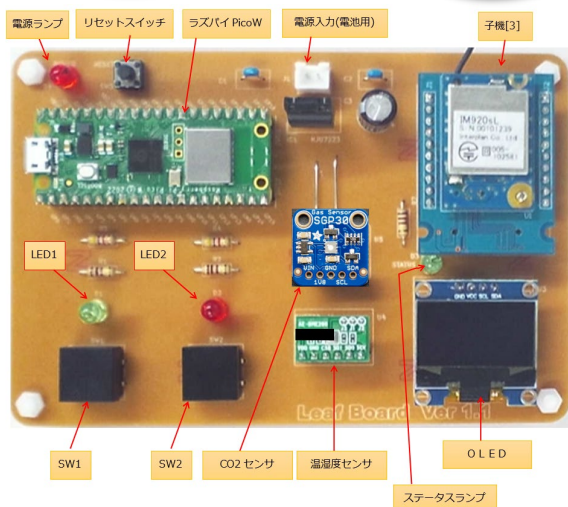
R8年12月3日(木)
～ 12月4日(金)
9:30～16:30

定員

10名

受講料

10,500円(税込)



会場

中国職業能力開発大学校

〒710-0251 岡山県倉敷市玉島長尾1242-1

援助計画課

TEL:086-526-3102

URL:<https://www3.jeed.go.jp/okayama/college>

1. IoTの概要とデバイス構成

- (1) IoTでの無線方式
- (2) ネットワークのトポロジ
- (3) ターゲットボードの構成

2. センサネットワーク技術

- (1) 無線通信モジュール単体での通信
- (2) センサネットワークの構築

3. 環境モニタリング実習

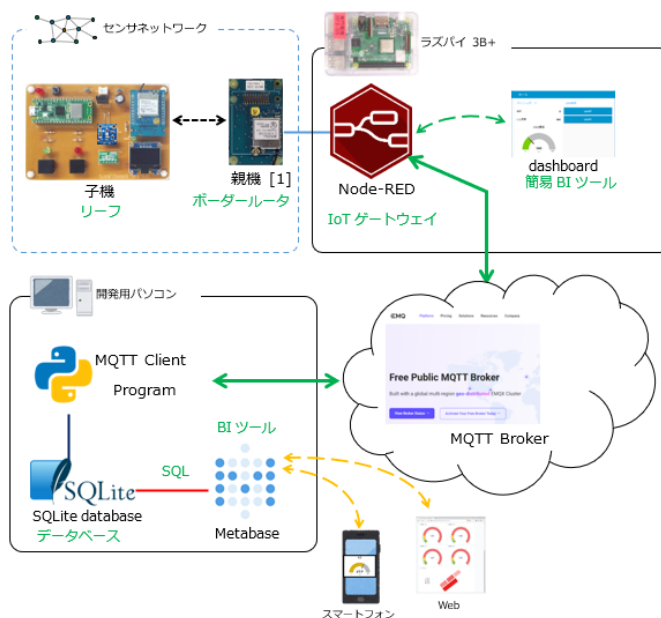
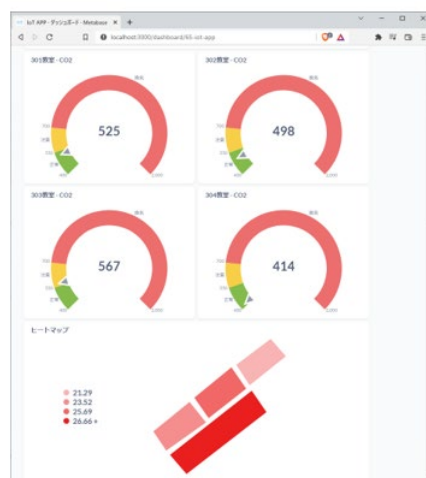
- (1) GPIOの操作
- (2) 環境センサの制御（温度・湿度センサ、CO2センサ）
- (3) シリアル通信

4. データの可視化

- (1) IoTゲートウェイの構築（NODE-Red）

- (2) MQTT通信
- (3) データベース
- (4) BIツール

5. まとめ



担当指導員

中国職業能力開発大学校 電子情報系 職業訓練指導員

使用機器

パソコン式、ラズベリーパイ、ラズベリーパイPico、温度・湿度センサ、CO2センサ、無線モジュール（インタープラン IM920sL）、データベース、NODE-Red、BIツール

エッジコンピュータによる
学習済みAIモデルの実装

能力開発セミナー

コース番号5D136 「エッジコンピュータを用いたAI活用技術」

日程 2026.12.4（金），12.11（金） 9:30 ～ 16:30

定員 10 名

受講料 13,500 円(税込)

会場

中国職業能力開発大学校 1号棟4階1401室
〒710-0251

岡山県倉敷市玉島長尾1242-1

援助計画課

TEL 086-526-3102

FAX 086-526-2319

コース内容

対象者

- ① エッジAIとは何なのか知りたい方
- ① エッジAIによる可能性を評価したい方
- ① エッジコンピュータによるAIモデルの構築に興味はあるが実務では使ったことがない方
- ① 現場の課題に対してエッジAIによる課題解決を模索している方

エッジコンピュータ(GPUを搭載したコンピュータ)の特徴と実習による環境構築の方法を習得します。
また学習済みAIモデルをエッジコンピュータに実装する方法および活用方法に関する技術を習得します。



- ✓ ものづくり現場における活用の現状と展望
- ✓ エッジコンピュータの概要
- ✓ エッジAI環境構築実習
- ✓ AI活用実習

🔍 本セミナーを受講することにより…

エッジコンピュータの環境構築および、「ものづくり現場におけるAI活用技術」で構築したAIモデルや様々な学習済みAIモデルを実装し活用することができるようになります。

／らしく、はたらく、ともに／



中国職業能力開発大学校

URL: <https://www3.jeed.go.jp/okayama/college/>

カリキュラム

1. ものづくり現場におけるA I 活用の現状と展望

- (1) A I 活用による品質向上
- (2) A I 活用による新たな価値創造

2. 機械学習と人工知能（A I）

- (1) 機械学習の定義と種類
- (2) 機械学習の基本プロセス

3. エッジA I 環境構築実習

- (1) エッジコンピュータの概要
- (2) エッジコンピュータの準備と動作
- (3) OSの操作と設定
- (4) データセットのインポートと前処理
- (5) A I モデルの構築とトレーニング
- (6) モデルの評価と改善

5. A I 活用実習

- (1) 学習済みモデルの実装
- (2) システムの実行と検証
- (3) 後処理
- (4) G P I O制御

担当指導員

中国職業能力開発大学校 電子情報系 職業訓練指導員

使用機器

パソコン一式、A I 開発環境、エッジコンピュータ、画像取り込み用カメラ、その他（認識対象物等）

1. 製造データの活用事例

- (1) 生産計画データからの展開（発注指示、作業指示等）
- (2) 製品設計データからの展開（部品展開等）

2. データストアへのアクセスとプログラミング

- (1) 一般ファイル
- (2) データベース

3. Webプログラミング

- (1) HTTP通信
- (2) クライアントサイドの処理
- (3) サーバサイドの処理

4. Webシステム構築実習

- (1) システム構想
 - ・ 資材所要量計画（MRP）
- (2) データベース設計
- (3) Webアプリケーション開発
 - ・ PythonとDjango

5. まとめ

担当指導員

中国職業能力開発大学校 電子情報系 職業訓練指導員

使用機器

パソコン式、プログラム開発環境、データベースソフト

よくあるご質問

？ 1 研修コースに申し込むにはどのようにしたらよいですか？

本冊子裏表紙の「受講申込書」をコピーもしくは当施設のホームページからダウンロードして必要事項をご記入の上、FAX、郵送又は持参にてお申し込みください。もしくは、当施設のホームページより、Webフォームでのお申し込みも可能です。

？ 2 申し込みの条件はありますか？

申し込みの特段の条件はありませんが、各コースを学ぶ前提となる知識・技能・経験を有しているとより理解が深まります。お申し込みの際し、気になる点がありましたら、お気軽にご相談ください。

？ 3 申込後に受講者を変更することはできますか？

できます。コース開講日の前日までにご連絡ください。

？ 4 申込コースを当日欠席や遅刻する場合はどうしたらよいですか？

お電話にてご連絡ください。 中国能開大 援助計画課 TEL (086) 526-3102

？ 5 駐車場はありますか？

本館前にございます。ご利用に当たり気になる点がありましたら、お気軽にご相談ください。

？ 6 申込コース又は施設利用サービスを変更やキャンセルしたいのですが、どのようにしたらよいですか？

下記のとおり、14日前までにご連絡をお願いします。それ以降の変更やキャンセル又はご連絡がない場合は受講料又は使用料をご負担いただきます。

申込コースの変更やキャンセルの期日について

申込コースの開講日又は施設利用日の **2週間 (14日) 前まで** に、お知らせください。

それ以降の変更やキャンセル又はご連絡がない場合は、受講料又は使用料をご負担いただきます。

期日の考え方の例	4月7日	4月8日	4月16日	4月17日	4月18日	4月19日	4月20日	4月21日	4月22日
	15日前	14日前	6日前	5日前	4日前	3日前	2日前	1日前	開講日(利用日)
受講料振込後の変更・キャンセルの場合	受講料返金		受講料負担						
※4/7が土・日・祝であれば、その前の開庁日(平日)が期限となります									

？ 7 昼食はどうしたらよいですか？

平日については、校内に食堂がございますので、ご活用ください。なお、夏期および冬期の学生休暇の場合は営業しておりません。また、徒歩圏内にコンビニがございます。

？ 8 当日の服装・持参品はありますか？

本冊子のコース詳細ページ（4ページ～）の受講者持参品欄に記載しております。また、申込完了後に送付する「受講票」の持参品欄にも記載しておりますので、併せてご確認ください。

？ 9 希望コースが定員に達している場合はどうしたらよいですか？

「キャンセル待ち」として申込みを受け付けることができます。キャンセルにより定員に空きが生じた時点でご連絡いたします。

？ 10 受講料の支払い方法は？

請求書を受領後、開講日の7日前までに、記載された銀行口座にお振込みください。受講料は税込金額を提示しておりますので請求額をお支払いください。振込み手数料はお客様のご負担となります。なお、7日前に間に合わない場合は、必ずご連絡をお願いいたします。

中国職業能力開発大学校 校内案内



中国職業能力開発大学校 (中国能開大)

〒710-0251 岡山県倉敷市玉島長尾1242-1

TEL (086) 526-3102 FAX (086) 526-2319

<https://www3.jeed.go.jp/okayama/college/>

中国能開大

検索



年 月 日

受講申込書

中国職業能力開発大学校

FAX 086-526-2319
メール Chugoku-college03@jeed.go.jp

※次のコースについて、訓練内容と受講要件(ある場合のみ)をご確認の上、お申し込み下さい。

コース番号	受講コース名	開講日(初日)
		月 日 ()

フリカナ 受講者氏名	訓練コースに関連する 経験・技能等(※1)	性別 (西暦)生年月日	就業状況(※2) (該当番号に○)	駐車場 利用の有無
		男・女 年 月 日生	1.正社員 2.非正規雇用 3.その他(自営業等)	有・無
		男・女 年 月 日生	1.正社員 2.非正規雇用 3.その他(自営業等)	有・無
		男・女 年 月 日生	1.正社員 2.非正規雇用 3.その他(自営業等)	有・無
		男・女 年 月 日生	1.正社員 2.非正規雇用 3.その他(自営業等)	有・無
		男・女 年 月 日生	1.正社員 2.非正規雇用 3.その他(自営業等)	有・無

勤務先	法人番号	(法人番号がない場合は、以下の該当に○印) 1. 団体 2. 個人事業主 3. 個人	
	会社名	従業員数	①1人～29人 ②30人～99人 ③100人～299人 ④300人～499人 ⑤500人～999人 ⑥1000人以上 (該当するところを○で囲んでください。)
	所在地		業種
	(※受講票/請求書等を郵送させていただきます。)		所属団体名
	TEL	FAX	
	申込担当者	【申込担当者職氏名】	【所属部署】
		【連絡先 TEL】	
	Eメールアドレス		

個人連絡先	住所	(※個人でお申し込みの場合のみ必ず記入してください。) (※受講票/請求書等を郵送させていただきます。)	
	TEL	FAX	

【必須】受講区分(※3)

会社	個人	※受講料請求書のあて名について、「会社」、「個人」の該当する区分を○で囲んでください。
----	----	---

※1 訓練を進める上での参考とさせていただくため、今回受講する訓練内容に関連した職務経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方は、差し支えない範囲でご記入ください。(例: 切削加工の作業に約5年間従事)

※2 就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員などが該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。

※3 受講区分の「会社」を選択された場合は、受講者が所属する会社の代表者の方(事業主、営業所長、工場長等)にアンケート調査へのご協力をお願いしております。

(注1) 受講の取消し、受講者の変更等もこの申込書をご利用ください。

(注2) 訓練内容等について、ご不明な点、あるいは安全面・健康上においてご不安な点などございましたら、あらかじめご相談ください。

当機構の保有個人情報保護方針、利用目的

○独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は、「独立行政法人等の保有する個人情報に関する法律」(平成15年法律第59号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。当機構では、必要な個人情報を、利用目的の範囲内で利用させていただきます。

○ご記入いただいた個人情報は在職者訓練の受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の在職者訓練や関連するセミナー・イベント等の案内に利用させていただきます。受講区分欄の「会社」を選択されたときは、申込担当者様あてに送付いたします。

事務処理欄 (記入しないで下さい。)	■ 入力 / 記帳 /
-----------------------	-------------